

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	環境保全推進事業	コード	71201
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民環境課	作成者 小口 智徳
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	環境保全の推進	施 策	地球環境対策の推進
		予算科目	環境保全推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	岡谷市の望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現のため、環境保全を推進するための施策を展開する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	岡谷市の恵まれた豊かな自然を将来にわたって育てていく。	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
○環境基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 第3次岡谷市環境基本計画を推進するため、環境基本計画における重点目標や事業者、市民、行政が行うことなど具体的な取組を広報おかやに掲載し、啓発を行った。また、商工会議所会員に向けて「市民環境課だより」を配布し、環境基本計画の周知を行った。 太陽熱、地中熱の利用設備設置に対する補助と、雨水貯留施設の設置に対する補助を実施した。 環境保全（緑のカーテン事業、市内一斉気温測定、我が家の省エネ自慢等の推進を図った。 岡谷エコフェスティバル20回記念事業として、一般財団法人 自治総合センターより助成を受け、9月24日（月）に岡谷市文化会館において「岡谷市の環境を考えるシンポジウム ～考えよう 僕らの諏訪湖 伝えよう豊かな自然～」を開催し、諏訪湖をはじめとした岡谷市の自然環境を考える機会とした。 10月27日（土）に、ララおかや及びテクノプラザにおいて、48団体、2,000人の参加を得て、エコフェスティバル2018を開催した。 		
前年度の課題への対応	・再生可能エネルギーを取り扱う業者等に対し、岡谷市の補助制度を説明。顧客への周知を依頼すると共に、岡谷エコフェスティバルに出展していただき、参加者にPRをしていただいた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位 回
実績値	12	12	12	
*指標の説明	毎月（12ヶ月）			
② 成果指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位 回
目標値	12	12	12	12
実績値	12	12	12	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
*指標の説明	1回×12ヶ月（21年度～広報のみ）			
*目標値の設定方法の説明	新聞・広報おかやへ掲載し情報提供した回数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	3,254,504	3,103,002	3,658,412	6,490,000
経常経費	2,165,449	2,147,125	2,135,166	2,245,000
臨時的経費	1,089,055	955,877	1,523,246	4,245,000
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	11,254,504	11,103,002	11,658,412	14,490,000
前年度比		98.7%	105.0%	124.3%
財源	11,254,504	11,103,002	10,958,412	14,490,000
一般財源				
内訳			700,000	
特定財源				
* 特定財源の説明 H30：シンポジウム助成事業助成金				
④ 活動一単位あたりコスト	847,121	845,594	844,597	
前年度比		99.8%	99.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
水資源保全全国自治体連絡協議会負担金	件数		1	1	1
	金額		10,000	20,000	10,000
長野県環境保全協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
環境市民会議おかや	件数	1	1	1	1
	金額	110,000	110,000	110,000	110,000
再生可能エネルギー活用補助金	件数	4	8	5	9
	金額	915,000	787,000	658,000	1,060,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	件数				
	金額				
	合計金額	1,055,000	937,000	818,000	1,210,000
	割合	32.42%	30.20%	22.36%	18.64%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの利用促進に向けた、啓発活動 ・水資源保全に向けた対応協議
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の市内の状況を把握していく。 ・市民・企業に向けた周知を行う ・岡谷市が有する水資源の全体量等が把握できていないことから、ガイドライン等の策定に先立ち、調査を行う必要がある。併せて、今後の水資源保全に向けた関係課との調整が必要。
改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---